

平成 29 年度第 1 回高知県社会貢献活動支援推進会議（要旨）

開催日時：平成 29 年 10 月 27 日（金）10：00～12：00

会場：高知共済会館 4 階 浜木綿

議題：次第参照

1) 会長・副会長の選出

**事務局** 高知県社会貢献活動支援推進会議設置要綱第 3 条により会長・副会長の選任は、委員の互選により定めている旨を説明。

**委員** 会長に清原委員、副会長に八木委員を推薦。

**委員** 出席委員全員が了承。

**事務局** 会長は清原委員、副会長は八木委員に決定。

2) 第 3 次社会貢献活動支援推進計画に基づく支援策

・平成 28 年度の活動実績及び平成 29 年度の計画

**事務局** 資料 1 及び資料 2 について説明。

**高知県ボランティア・NPOセンター** 資料 2 について説明。

**NPO高知市民会議** 資料 2 について説明。

**高知県西部NPO支援ネットワーク** 資料 2 について説明。

**委員** 15 ページの県職員NPO短期派遣研修において、県職員が参加しているのNPOの活動分野を教えてください。

**事務局** 室戸ドルフィンプロジェクト、NPO砂浜美術館、高知こどもの図書館、土佐山アカデミー、土佐観光ガイドボランティア協会、高知SGG善意通訳クラブ、環境防災対策協会である。

**委員** NPO短期派遣において、毎年 15 名以上の派遣を取組目標にしている、28 年度が 9 名。今年度の予定が 5 名であるが、取組・周知に力を入れている割には成果が出ていない。どういう取組をしているのか。

**事務局** 庁内への周知は、研修の体験談やNPOの情報などを交えてメールにより周知している。ここ数年間は参加者が少ない状況が続いている。

**委員** 県職員、受入れ団体ともにメリットがあると思う。

**会長** 受付は、随時しているのか、それとも期限を区切って行っているのか。

**事務局** 随時受付でなく、期限を区切って受け付けをしている。

**会長** もう一度周知を行い、参加者が昨年度並みになるようお願いしたい。

**事務局** 承知した。

**委員** 龍馬マラソンがチャリティーマラソンになったため、その寄附金を高知のまちづくりや地域発展のために使っていただくことはできないか。また、龍馬マラソンで寄附を受

けた団体が、何かしら PR することもできるのではないか。

**事務局** 龍馬マラソンは実行委員会により内容を決めている。その話は聞いているため、部長に伝えているが、龍馬マラソンは、実行委員会により内容を決めているため、この場ではお答えしかねる。

**委員** チャリティーマラソンの事例や運営ノウハウを学べるような情報提供があればと良いと思う。

**事務局** ボランティア・NPOセンターと協力しながら、そのような情報を収集し、情報発信するということか。

**委員** そのような形で。

**会長** 次回までに少し検討していただけないか。

**事務局** 承知した。

**委員** 資料の3ページの活動基盤の整備で、東部での中間支援組織設立とあるが、具体的にどういったところまで進んでおり、今年度はどのような計画をしているか。

**高知県ボランティア・NPOセンター** 各NPOに当たっていくことは行っているが、具体的な目標値を立てるところまではいっていない。

**会長** 目標達成は必要であるため、もう少し進めていただく方向でご検討いただきたい。

### 3) 高知県の支援事業（平成28年度の実績及び平成29年度予算）の概要

**事務局** 資料3により説明

**会長** 子ども食堂の補助金はどのようなものに使えるか。

**事務局** 食堂の運営に関する経費と聞いている。

**高知県西部NPO支援ネットワーク** 人件費ではなくて、事務費とか運営費だと思う。

**委員** 子ども地域学習推進事業について詳しく教えていただきたい。

**事務局** 教育委員会が所管しているため、後日メール等で回答させていただきたい。

**委員** 県庁各課における、NPOが活用できる事業の情報発信というのはどのようにされているか。

**事務局** 年度当初に庁内各課に照会を行い、ホームページに掲載している。

### 4) 第4次社会貢献活動支援推進計画について・策定に当たっての考え方

**事務局** 資料4について説明

**会長** 高知県は、若い人たちが地域活動していることで注目をされている。計画策定を進めていく段階で、若い人たちも巻き込んで議論をしていくような機会が作れないか。素案ができたところぐらいで、県内の4大学ないしは5高等教育機関に働き掛けてということになるのかもしれないが、チャンスがあれば、機会を頂けたらどうだろうか。

**委員** この計画を策定するプロセスにおいて若者を巻き込んでいくというのはすごく大事と思う。今、いろんな動きがあり、起業する中にも企業だけではなく、NPOを起業し

ようとする動きも出てきており、社会貢献とコミュニティビジネスのような部分も含めて、若者の意見が計画に反映されるような形にするのが良いと思う。

**事務局** アンケートを採るというよりフォーラムみたいなので意見を頂くということか。

**会長** 例えば、アイデアソンのような形もあるかもしれない。NPOフォーラムでやられてる方法でもいいと思う。若い人たちがNPOに興味を持つ機会にもなり、地域活動がもっと盛んになっていくきっかけにもなるかもしれない。ご検討いただきたい。

**事務局** 承知した。

**委員** 高齢化になっている現状の中で、後継者をどのように増やしていくかというような内容をアンケートの中に入れるのはどうか。

**委員** 行政計画は、数値目標や成果指標が求められていると思うが、社会貢献は数値が測りにくいと思うので、工夫が必要だと思う。

**事務局** 可能なものは数値目標をあげるが、数値化が難しいものは、工夫したいと思う。

**委員** 介護保険の仕組みは、住民がボランティア活動をしないと崩壊していくところまできている。そこで、自分たちの地域は自分たちで支えていくという、地域づくりの展開ができるような計画にもしていただきたい。

**委員** アンケートは集落活動センターを運営している団体にも届くのか。広くNPOの定義を捉えれば、集落活動センターを運営している団体もNPOである。議論が十分されていないと思っているところが、集落活動センターを運営している団体の財源、いわゆるファンドレイジングの部分が議論されていない。公的な補助金で人件費付きの大きな資金を受けるが、その後の財源をどのように確保するかというのが大きな課題になっている。NPOとして捉えて見たときに多様な財源を確保していくことは大事なことだと思う。その中で、寄附、会費、助成財団からの助成、民間財団からの助成など、いろんな財源というものを集落活動センターを運営している団体自身も少し意識を広く持ってほしいと思っている。中山間地域対策課と連携をとり、集活センターを運営している団体の多様な財源確保について何かしらご検討いただきたい。

**事務局** 承知した。

**事務局** 参考資料2～参考資料5について説明。

**事務局** 参考資料2を集落活動センターにも送付する予定であるが、内容は、集落活動センターが答えやすいような選択肢を設けたいと思う。

**委員** 社協がしているNPOの講座や、ファンドレイジングに関係する講座などで、集活センターも聞くと学びが多いと思う。集活センターにも、NPO経営に関する学びが提供できるような連携を取ってほしい。中山間地域対策課ともうまく連動できたらいいと思う。

**委員** 参考資料2の3ページ 問25の「県が社会貢献活動の拠点センターとして位置付けている高知県ボランティア・NPOセンター」が行う支援やサービスを利用したことがありますか」というふうにあるが、中間支援組織は、西部と高知市民会議があるため、よく使う中間支援組織はどこですかみたいな質問があると良いと思う。

**委員** 参考資料 5 は庁内に対してのアンケートですか。

**事務局** 庁内に対してのアンケートである。

**委員** 県職員NPO短期派遣研修についての項目を加えてはどうか。

**事務局** 検討していきたい。

**会長** アンケートは、修正後、すぐに実施されるのか。

**事務局** 一度メールで委員の皆さんに確認させていただいた後、実施する予定である。

**委員** 参考資料 3 の中で特に知りたい内容はどのようなことか。

**事務局** 社会貢献活動に係る取組状況、取組内容及び課題などを聞けたらと思う。

**委員** 課題としては、企業の人員が削減されて社会貢献活動まで回らないという企業も多いと聞いている。ただ、社会貢献活動の窓口は、本当にあるのかみたいなのところも聞いてみたい。また、窓口があって、どんな課題があるのかとか。NPOに対する要望とか。

**委員** 企業へのアンケートの調査の母数はどれくらいか。

**事務局** 前回は、回収率が悪く 260 社に対して、回答が 43。回答率が 15.5%と低かった。

**会長** アンケートはそれぞれどれくらい出す予定なのか。

**事務局** 前回、参考資料 2 を県内全NPO法人及び任意団体 60 団体へ配布をしている。集落活動センターも任意団体に含まれている。

**会長** 市町村はどうか。

**事務局** 市町村は 34 市町村全てである。また、前回企業は、高知県経営者協会加盟企業の 260 社に対して配布した。今回も経営者協会にご協力をお願いしたい。

**会長** このアンケートについては今日出た意見を事務局で 1 度検討を行い、メール又は郵送で確認の作業が 1 回入るということでよろしいか。

**事務局** 再度、ご意見頂きたいと思う。

**会長** 予定した議事は、全て終了したので、進行を事務局にお返すする。

以上